

# 令和5年度 美浜区まちづくり活動報告

「校庭等の木を活用した小学校でのICT教育支援」



特定非営利活動法人 リトカル

# 1 活動のきっかけ

## 小学校における課題

「GIGAスクール構想」で一人1台のICT端末が使えるようになったものの、国のアンケート調査では、「十分に活用できていない」「活用事例が不足」との声があった。

また、ICT教育の多くは教室内の作業が多く、屋外体験と組み合わせたICT教育事例は少ない。

## 地域の課題

美浜区は埋立地のため、森林や水田等が身近になく、自然環境・生物多様性が乏しい地域です。そのため、親や学校が子供に自然体験をさせたいと思っても「きっかけ」をつかめず、その結果、子供達は自然から離れた生活を過ごしている。

## これらの課題解決の一つとして

ICTと樹名板を使ったネイチャーガイド



## 事業の目的

美浜区の小学校において、ICTと校庭の木を使った体験型自然学習環境を提供することで、小学校のICT活用拡大と、小学生に自然に触れ合う「きっかけ」を実現する。

## 2 活動内容①

# 幕張西小学校

事業内容：

木の専門家と一緒に、校長先生及び教頭先生に説明をしながらICT対応樹名板を設置した。取付後、生徒や先生だけでなく近隣住民や保護者、卒業生の反応も好意的との話を頂いた。

○2024年1月15日

○参加者 2名（校長先生、教頭先生）



森林インストラクターと協調して取り付け



校庭の配布用取り付けマップ

## 2 活動内容②

# 美浜打瀬小学校

事業内容：

子供達に木に関するミニ講座を開催後、自分の木を調べてイメージしながら樹名板を作成し、ニス塗りも体験した。

完成後は、木の専門家によるミニ観察会をしながら樹名板を取り付けた。子供達は木や生き物について楽しくお互いに話をしていた。

【作成】

○2024年2月22日 ○参加者 30名

【取付】

○2024年3月12日 ○参加者 31名



子どもたちが探しやすく準備



校庭の配布用取り付けマップ



## 2 活動内容④

# 学校・保育所で学習・体験できるマップ作成

事業内容：

設置した樹名板で学校・保育所の子供達が学習・体験できるためのマップを作成し配布した。

○2024年3月（幕張西小学校、美浜打瀬小学校と保育所に配布）



スマホで樹名板のQRコードを読むだけ！！  
音声ガイドつき木の紹介



虫、鳥、草も  
楽しく紹介



対応樹名板マップは裏面にあります。

### はなもく散歩の使い方

#### (1) 教室での使い方

- ① 「はなもく散歩」で検索
- ② ページをあける
- ③ 木のアイコンやマップのボタンを押して木の紹介や位置を確認しましょう。



木の詳しい紹介が見られる！  
木の自己紹介（音声ガイド）も聞ける！

※ふりがなをつけることもできます。



#### (2) 校庭での使い方

- ① 教室で美浜打瀬小学校のページをあける
- ② モードから「オフライン」を選択
- ③ 「教育施設」「美浜打瀬小学校」を選択
- ④ 散歩道をダウンロードを押す
- ⑤ 校庭ではなもく散歩を開ける
- ⑥ 木の名札のQRコードの下の5桁番号を入力して木の紹介を見る

はなもく散歩の  
使い方（動画）



### 3 まとめ

#### 成果：

○樹名板作りや設置に参加してくれた子供達は、楽しそうに木の名札や取り付けに取り組んでおり、終了後には木や生き物について話をしていたことから、関心を高められたと感じた。

また、小学校の校長先生からも高評価を頂いており今後の利用が期待された。

小学校での取り付け枚数が増えたことにより、地域の住民や卒業生からも関心が寄せられている。

#### 課題：

○環境教育の一環として活用には至っていないので、授業への展開を進めていくことが必要と感じている。



### 3 まとめ

今後の事業展開：

#### ○対象年齢を下げて導入

当初対象を小学校としていたため活動の範囲が限定されて取組が遅れたことから、未就学児（次年度小学生になる子供達）の施設にも対象を広げて実施することで、美浜区の子供達に自然への関心を高めてもらうきっかけを提供したい。

#### ○小学校等の教育機関での自然にふれあう「きっかけ」作り

環境教育の授業（4年生）への適用方法を学校側との信頼関係を構築しながら展開方法を相談しながら進めたい。





 ご覧頂きありがとうございました。

